

代表質問・一般質問(2)

2ページより続かない。今後どうするのか。

答弁 ドッグラン設置に関する検討会を設置し、報告を受けている。市民の自主運営による協働が必要だが、組織が立ち上がっていない。引き続き愛犬家への働きかけを行い、早期実現に向け整備を行う。

質問 ごみ対策の推進について、本年度家庭ごみの有



ドッグラン(都立小金井公園)

料化等を順次実施する予定だが、有料化の効果とは。

答弁 ごみの減量と資源活用、再利用の意識向上を進めることが趣旨である。世帯当たりの平均負担額は月額600円程度と見込んでいます。有料化実施については、市民感情をよく考慮し、慎重な対応をしていただきます。

意見 新町のしらし窪都営

住宅跡地については、都立公園化等も視野に入れて検討したい。

答弁 安全安心対策室を立ち上げ、危機管理体制を確立するとあるが、市民の安全をどのように守るのか。

答弁 現在の環境防災部防災課と市民生活部生活文化課で担っている防犯事務等

を統合し、防犯、防災、国民保護などを一元的に所管する組織として安全安心対策室を立ち上げ、危機管理体制の充実を明確にしていきたい。

質問 スポーツ振興について

答弁 中学校給食の導入については、学校給食運営審議会へ諮問して調査・研究を進めるとしているが、市の基本的な考え方は、

答弁 現在、市立学校運営審議会が審議を進めている。19年8月ごろに予定される答申を踏まえ最終決定する。

質問 早稲田大学との連携について基本的考えを問う。

答弁 スポーツを通じた健康づくり、人材と場所と情報を共有できる仕組みなどについて連携したい。

質問 街なかサロンやチャレンジショップ事業などで、

商業振興が図られるのか。

答弁 成果が上がると考えている。特に、新規事業としてチャレンジショップ事業を開始するが、魅力ある商店街づくりに貢献できるものと期待している。

意見 小中学校のトイレについて、家庭環境の変化等により、和式トイレが使いづらくなってきた。今後は洋式化を望む。

生活者ネットワーク

西東京を

安心して暮らせるまちへ

保谷 七緒美
板垣 洋子
大友 かく子



家庭ごみの収集

総合計画の見直しと緑地政策について

質問 中長期的な財政見通しについて伺う。19年度に行われる総合計画の見直しで、公園緑地の確保がある所かになるようなことがあつては困る。考えを問う。

答弁 財政状況は不透明で流動的な要素を多分に含んでいる。緑地の確保についてはなるべく努力したい。安全安心対策室について

質問 新たに設置される安全安心対策室で、市民生活の管理・監視、外国人の排除などがないようにすべき

答弁 当然のことながら、十分に配慮していきたい。

質問 ごみ収集の有料化について

答弁 ごみ収集の有料化はごみ減量に向けての政策的誘導策と考えるが、市民に丁寧な説明してほしい。また、現状でもごみの分別がわかりにくいとの声を聞く。市民

にわかりやすい分別をどのように周知徹底していくのか

答弁 家庭ごみの有料化は減量、資源化の有効な手段として、多摩26市中15市で実施されており、最終処分場の延命化のためにも必要だ。市民への説明もきちんと行っていく。

質問 19年度は5校で取り組むということだが、次年度はぜひ全校で取り組んで

ほしい。

答弁 今後も引き続き拡充に努めたい。

質問 災害弱者支援について

答弁 地域防災計画の見直しの中で、災害弱者と言われる高齢者、障害者、子ども、外国人などへの配慮を盛り込んでいくのか。

答弁 国や都が示している

な対応をとる。

質問 交通計画、道路整備計画では最新資料が使われていない、計測地点が示されていない、市外データが入っている。渋滞が問題で計画をつくるのに、新しいデータでは交通量が減少し、混雑度は下がっている。また混雑度について規定が入っていない。だれが作ったのか。

部長 間に合わなくて古いデータを使った。最終案では最新データを使う。混雑度の定義は載せる。混雑度

ガイドライン、指針などに従い、盛り込むつもりだ。

質問 NPO支援策について

答弁 NPO長屋のようなものを想定しているのか。

答弁 市民会議室、またはいわゆるSOHOなどを検討している。

質問 ボール遊びのできる広場について

答弁 ボール遊びのできる場所を確保するには、今ある学校や校庭などの運用を見直すべきと考えるが、いかがか。

答弁 学校施設開放運営協議会と協議しながら検討したい。

質問 学童クラブの時間延長について

答弁 学童クラブの時間延長を要望する。

データを解読して、1.0は混雑が連続する可能性は非常に小さい」と書かれている。資料をもらった上で別の機会に質疑する。

質問 市長として市長の給与と報酬

答弁 市長として市長の給与と報酬の機会に質疑する。

質問 市長として市長の給与と報酬

答弁 市長として市長の給与と報酬の機会に質疑する。

データ元の解説では、1.0は混雑が連続する可能性は非常に小さい」と書かれている。資料をもらった上で別の機会に質疑する。

質問 18年度は5団体で総額200万4千円、給与の減額は115万8千円だ。

意見 減額分以上の報酬が他のポストから出ていることがわかった。早期解消に努力すべきだ。

形骸化する市民参加
きちんと市民の声を聞け!

無所属

森 てるお

質問 年末年始にかけて123ページの国民保護計画、2月には60ページの交通計画、91ページの道路整備計画、28ページの交通安全計画等へのパブリックコメントが募集された。膨大な計画の概要だけを見せて意見をという行政の姿勢はそれではないのか。

市長 丁寧な説明、市民周知を心がけ、市民の意見を行政に反映できるように努めていく。

部長 大部になるので全文掲載ではなく、簡潔明快な公表用資料をつくった。

質問 資料をそのまま出して市民に意見を求める、むちゃな話だ。

市長 短い期間での検討になった。今後、指摘の点を踏まえて検討する。

質問 市民は前提になるデータの真偽について行政を信じるしかない。もしデータに重大な誤りがあったら市長はどう対処するのか。

市長 真偽を確かめて適切

幹線道路の交通渋滞

副市長
平成18年地方自治法の改正により名称が助役から副市長に変更され、長の事務の一部につき委任を受けた。

2庁舎問題
西東京市では、市民課などの一部の窓口業務を除いて、田無庁舎と保谷庁舎の2庁舎に機能が分散している。庁舎が2つあることで、維持管理費がかさむことなどが指摘されている。

インクビル
田無庁舎に隣接する商業ビル。平成2年田無駅北口開発の際に代替店舗として開設した。

用語の解説

副市長
平成18年地方自治法の改正により名称が助役から副市長に変更され、長の事務の一部につき委任を受けた。

2庁舎問題
西東京市では、市民課などの一部の窓口業務を除いて、田無庁舎と保谷庁舎の2庁舎に機能が分散している。庁舎が2つあることで、維持管理費がかさむことなどが指摘されている。

インクビル
田無庁舎に隣接する商業ビル。平成2年田無駅北口開発の際に代替店舗として開設した。